

令和 3 年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価概要（全体）

輪之内町地域公共交通会議

平成 1 9 年 9 月 1 4 日設置

令和 2 年 6 月 2 3 日 フィーダー系統 確保維持計画策定等

直近の二次評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
予約・決済方法、運行体制等、デマンドバスにはあらゆる課題が存在する。 個々の課題に対して、誰が・いつまでに・どのように対策・解決するか明確化し、協議が必要。	デマンドバスの予約については、かねてより要望のあった、インターネット予約を令和4年1月より本格導入。	決済方法や運行体制等、デマンドバスの課題対策にあたっては、運行事業者との連携が最重要である。 運行事業者と協議を重ね、よりニーズに応じた運行体系を目指す。
住民の町外への移動ニーズを踏まえた路線の設定については、引き続き隣接自治体と協議を重ね、連携したものとなるよう期待する。	隣接自治体との協議は、必要に応じて継続中。 海津羽島線の町内停留所設置については、来年度10月に実施予定で協議が整った。 安八SICにデマンドバスのバス停(名神安八)を設置し、にしみのライナーに接続。	他路線において、利用者・住民のニーズに応えられるよう、必要に応じて隣接自治体との協議を行っていく。

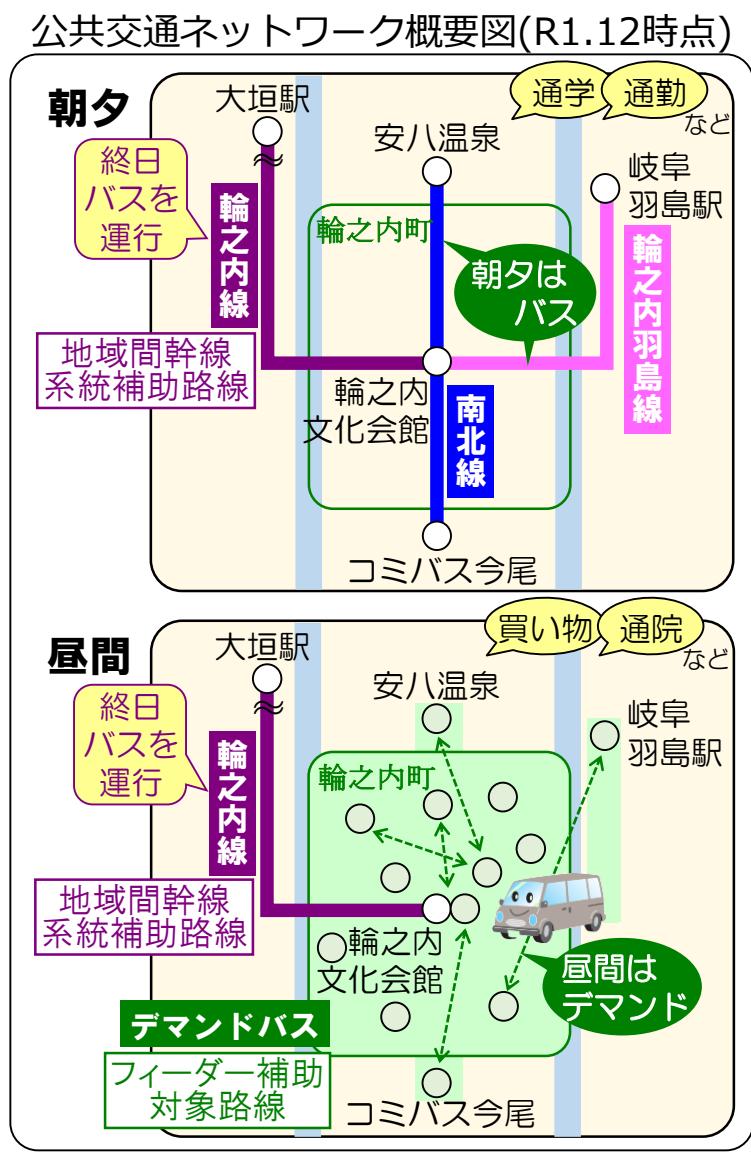
地域の特性と背景

- 本町は、町内に鉄道駅がなく、町と町外を結ぶ3路線と町内を循環する1路線の計4路線のバスが運行されていたが、特に自主運行バス路線（輪之内線以外）の年間輸送人員の減少、バス路線維持に対する財政負担が問題
- 住民からは、空バスへの指摘がある一方、こまめな停留所の配置や増便などの新たな要望
- 利便性向上を図るとともに、効率的な公共交通を構築することを目的とし、「輪之内町地域公共交通総合連携計画」(H26.3)を策定
- 計画策定後、町内の移動を確保するため新たに「輪之内町デマンドバス」を運行（H27.1）
- **今年度、次期計画を策定予定**

計画の基本的な方針・目標・期間等

輪之内町地域公共交通総合連携計画

- 基本理念
「住んでいて良かった、これからもずっと住み続けたいまちづくり」の一翼を担う公共交通の構築を目指す
- 基本方針
 - ①移動制約者の外出機会創出のための生活交通の確保
 - ②通学ニーズに合った公共交通の確保
 - ③幹線系統のサービス水準向上と乗り継ぎの改善
 - ④地域で支え合う持続可能な公共交通の構築
 - ⑤公共交通の利用促進に向けた取り組みの推進
- 計画期間 平成26年度～平成31年度



輪之内町地域公共交通計画策定に向けた取り組み（令和3年度策定予定）

各種アンケート調査

①住民アンケート（回答数：1,017票）

- 広報折込にて全戸配布
- 日常生活での移動状況や公共交通の利用状況、公共交通サービスの満足度・改善要望（方面別）

②中学保護者アンケート（回答数：72票）

- 輪之内中学校3年生対象
- 高校選択時の公共交通の利便性の重要度、公共交通の利用に抵抗を感じる点、公共交通サービスの改善要望（方面別）

③高校生アンケート（回答数：84票）

- 輪之内町、安八町、大垣市墨俣町から通学している海津明誠高校生
- ふだん・雨天時の自宅から高校までの通学方法、バスを利用しない理由、高校までの直通便を運行した場合の利用意向

ワークショップ

- 3小学校区ごとに開催
- 現在の公共交通の状況に関する情報提供、より公共交通を利用してもらうための提案



バス利用者アンケート

- 輪之内羽島線、南北線：車内アンケート調査
- 輪之内線：輪之内文化会館乗降調査（便別乗降者数、乗降者の属性、文化会館まで(から)の移動手段）

輪之内町地域公共交通計画(案)の概要

- 前頁記載の調査結果、利用状況等の推移を踏まえ、次期計画となる「輪之内町地域公共交通計画」を作成中
- 計画の概要は以下のとおり。

基本理念

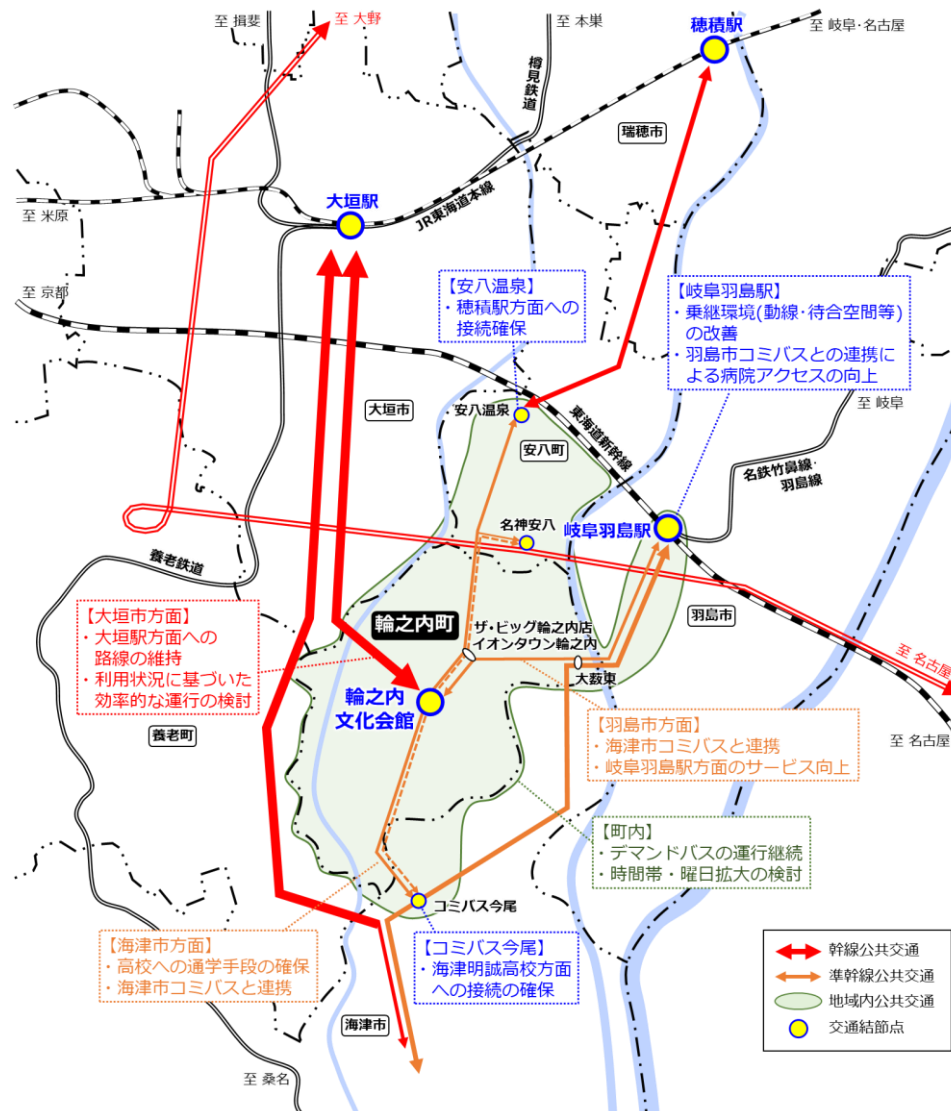
ずっと住み続けられるまちの一翼を担う公共交通ネットワークの維持・構築

計画期間

2022年度～2026年度（5年間）

基本方針と目標

- ①多様なニーズに対応するサービスの提供
 - 海津線・輪之内線の見直し
 - 回送便の実車化による増便
 - デマンドバスの時間延長・土日運行
- ②利用促進に向けた取り組みの推進
 - 地区別停留所詳細図の作成
 - 体験乗車会の開催、お試し乗車券の配布
 - 運賃負担軽減事業の実施
- ③持続可能な公共交通の構築
 - ワークショップの開催等、住民意見反映の仕組みの構築



【公共交通ネットワークのイメージ】

利用促進事業

輪之内町デマンドバス ネット予約導入の
実証実験 [実施主体：運行事業者・町]

- 以前より住民から寄せられていた**予約電話受付時間の拡大要望**を受けて、**ネット予約の導入実験**を実施。
- 運行管理の面からも、利用者からも大きな問題が出なかったため、**令和4年1月よりネット予約を本格実施**。
- 予約可能時間帯が限定されているなど、問題も残っていることから、更なる利便性向上を目指して、今後も関係者間で協議を行う。

ネット予約実証実験の概要	
期間	令和3年9月～12月 3か月間
受付時間	平日・土日祝日 16時30分～23時00分
周知方法	・チラシの全戸配布 ・ケーブルテレビで使い方案内動画の配信
新規登録者数	33人（令和3年12月末時点）
利用状況	利用者数87人，実利用者数※18人 （令和3年12月末時点） ※期間中に一度でもネット予約を利用した人数

新型コロナウイルスワクチン接種での
活用推進 [実施主体：町]

- 高齢者へのデマンドバス利用促進の一環として、新型コロナウイルス感染症**予防接種の接種券に、デマンドバスのお試し乗車券を同封**。
- 有効期限内であれば、ワクチン接種以外の目的での利用も可能とし、乗車券裏面に簡単なアンケートを記載。
- 期間中**113人**がお試し券でデマンドバスを利用。

輪之内町デマンドバスを利用してみよう!!

5月より新型コロナウイルス感染症の予防接種が開始されます。会場となる「輪之内町保健福祉センター」まで、**無料でデマンドバスの送迎（往復分）**を実施します。下記の電話番号に予約していただき、乗車の際に「無料お試し券」を切り離して運転手にお渡し下さい。ワクチン接種以外のおでかけでも2回無料でご利用いただけますので、是非ご利用ください!!

【デマンドバス予約センター】0584-69-5001
受付時間 平日8:30～12:00 13:00～16:30

利用にあたっての注意点

- ・コピーしたものはご利用になれません。
- ・デマンドバスの利用方法は、裏面をご覧ください。
- ・裏面のアンケートにご協力ください。

輪之内町デマンドバス 無料お試し乗車券

コロナワクチンの接種会場まで!

スーパーで買い物したい!

安八温泉でゆっくりしたい!

※お渡しの際は塩印と、運転手にお渡しください。
※コピーしたものはご利用になれません。
※裏面のアンケートにご協力ください。
有効期限:令和3年12月29日

輪之内町デマンドバス無料お試し乗車券

コロナワクチンの接種会場まで!

スーパーで買い物したい!

安八温泉でゆっくりしたい!

※お渡しの際は塩印と、運転手にお渡しください。
※コピーしたものはご利用になれません。
※裏面のアンケートにご協力ください。
有効期限:令和3年12月29日

デマンドバスの乗り方

①予約センターに電話します。
乗車1時間前までに!
自宅最寄りのバス停から保健福祉センターまで13時にお乗りください。
○乗車区間・希望時間などを伝えます

②お迎え時間を確認します。
では12時30分に自宅最寄りのバス停でお待ちください

③バス停から乗車し、目的地へ

お47

保健福祉センター
0584-69-5001

【受付時間】 8:30～12:00 13:00～16:30
平日
※自宅から最寄りのバス停は、広域わのうち5月号に張り込みをしてあり、輪之内町役所 公共交通利用ガイドをご覧ください。

輪之内町デマンドバスアンケート

当てはまる番号1つに○を付けてください。

01 お使いの乗車券にデマンドバスを利用したことがありますか。
①はい ②いいえ

02 今回のデマンドバスを利用した目的は何ですか。
①ワクチン接種
②通勤・通学
③買い物・外食・娯楽
④送迎
⑤公的施設への利用
⑥その他()

03 クルマの運転免許はお持ちですか。
①持っている ②持っていない ③運転した

04 お住まいの地区はどこですか。
①大野 ②福来 ③木本
④その他()
ご協力ありがとうございました。

輪之内町デマンドバスアンケート

当てはまる番号1つに○を付けてください。

01 お使いの乗車券にデマンドバスを利用したことがありますか。
①はい ②いいえ

02 今回のデマンドバスを利用した目的は何ですか。
①ワクチン接種
②通勤・通学
③買い物・外食・娯楽
④送迎
⑤公的施設への利用
⑥その他()

03 クルマの運転免許はお持ちですか。
①持っている ②持っていない ③運転した

04 お住まいの地区はどこですか。
①大野 ②福来 ③木本
④その他()
ご協力ありがとうございました。

評価指標と基本的な考え方

- 地域公共交通確保維持事業では、連携計画で定めた数値目標をベースに、利用実績を踏まえ、公共交通の路線別年間利用者数を目標値として設定
- 輪之内羽島線：現在の運行形態に変更して以降、平均して7,400人／年で推移。今後も同程度の利用者数を目標とする。
- 南北線：通学定期券利用者数に依存するところが大きく、平成30年度・令和元年度とも大きく減少した。利用者数のこれ以上の減少を避け、平成30年度と令和元年度の実績値の平均を目標とする。
- 輪之内町デマンドバス：運行開始以降増加が続いていたが、令和元年度に初めて前年度よりも減少となった。新規利用者の獲得等に努め、平成30年度程度の利用者数を目標とする。

令和3年度 地域公共交通確保維持計画 目標値（実績値）

	計画策定時	実績値（人）					目標値（人）		
	H24	H28	H29	H30	H31/R1	R2	R3	R4	R5
輪之内羽島線	7,157	7,401	6,740	7,849	7,439	7,978	7,400	7,400	7,400
南北線	4,420	4,443	4,774	3,499	1,652	2,101	2,500	2,500	2,500
町内線	141	—	—	—	—	—	—	—	—
デマンドバス	—	9,612	10,674	11,483	11,191	9,565	11,500	11,500	11,500
合計	11,718	21,456	22,188	22,831	20,282	19,644	21,400	21,400	21,400

目標値の達成状況

	実績値（人）					目標値 （人）	達成 状況
	H24	H30	H31/R1	R2	R3	R3	
輪之内羽島線	7,157	7,849	7,439	7,978	6,891	7,400	未達成
南北線	4,420	3,499	1,652	2,101	2,398	2,500	未達成
町内線	141	—	—	—	—	—	—
デマンドバス	—	11,483	11,191	9,565	8,738	11,500	未達成
合計	11,718	22,831	20,282	19,644	18,027	21,400	未達成

目標達成状況に関する考察

※フィーダー補助対象路線

輪之内羽島線	南北線	輪之内町デマンドバス※
● 直近数年間は、7,000人を超える利用者数だったが、R3は定期利用者減少の影響が大きく、7,000人を下回った。 ● 年間定期や3か月定期を購入していた学生が卒業等により利用しなくなったこと、またコロナによる通学定期券の購入が減少したことが理由として想定される。	● H31/R1以降、数百人ずつではあるが増加傾向が続いているものの、目標値は達成できなかった。 ● 町内からの定期利用者がいない年度もあったが、R3は町内の3人が定期券を購入された。	● コロナによる施設の休館や事業の中止による影響を大きく受け、R2よりも利用者数が減少した。 ● 新規利用者の増加よりも、既存利用者が高齢化し、利用しなくなる・できなくなるケースが増えてきている。

課題

輪之内羽島線

- 定期利用者の確保。
- 海津市コミュニティバス海津羽島線とのサービスの違いの周知。



対応方針

- 進学先(方面)に応じた中学3年生向けPRチラシの作成・配布の継続。
- 定期利用者の獲得に効果のある、高校生のバス通学定期購入補助を継続実施。
- 海津羽島線の大薮東バス停への停車にむけて、運賃及びその支払い方法、岐阜羽島駅での乗り場など、混乱なく利用できるよう情報を周知する。

南北線

- 通学目的以外の利用者の確保。



- 通学利用者だけでなく、別目的の利用者の獲得に向けて、回送車両を活用した「にしみのライナー」への接続を検討。

輪之内町デマンドバス

- 新規利用者の掘り起こし。
- ネット予約のサービス向上。



- 利用機会創出のため、町のイベントやワークショップの開催時にお試し乗車券を配布し、新規利用者の掘り起こしを図る。
- ネット予約開始により、10歳代など若い世代からの新規利用がみられた。スマートフォンを使用する年代が増えている状況も踏まえ、予約可能時間帯の拡大など、ネット予約の利便性向上を図る。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和 4年 1月19日

協議会名: 輪之内町地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統)

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
【補助対象となる事業者 名等の名称を記載】	【系統名・航路名・設備名・運行(航)区間、整備 内容等を記載(陸上交通に係る確保維持事業に おいて、車両減価償却費等及び公有民営方式車 両購入費に係る国庫補助金の交付を受けている 場合、離島航路に係る確保維持事業において離 島航路構造改革補助(調査検討の経費を除く。) を受けている場合は、その旨記載】	【事業評価の評価対象期間 において、前回の事業評価 結果をどのように生活交通 確保維持改善計画に反映さ せた上で事業を実施したか を記載】	A ・ B ・ C 評価 【計画に基づく事業が適切に実 施されたかを記載。計画どおり 実施されなかった場合には、理 由等記載】	A ・ B ・ C 評価 【計画に位置付けられた定量的 な目標・効果が達成されたかを、 目標ごとに記載。目標・効果が 達成できなかった場合には、理 由等を分析の上記載】	【事業の今後の改善点及びより適切な目標を記 載。改善策は、事業者の取り組みだけでなく、地 域の取り組みについて広く記載。特に、評価結果 を生活交通確保維持改善計画にどのように反映 させるか(方向性又は具体的な内容)を必ず記載 すること。】 ※なお、当該年度で事業が完了した場合はその 旨記載
名阪近鉄バス(株)	輪之内町デマンドバス	新型コロナウイルス感染症 の接種表にデマンドバス のお試し乗車券を同封し、利 用機会創出を図った。 令和3年9月～12月にネット 予約導入の実証実験を実施 し、利便性向上を図った。 小学校区ごとにワーク ショップを開催し、利用状況 等の共有をした上で、公共 交通をより良くしていくため 企画・提案を募った。	A 事業が計画に位置づけられたと おり、適切に実施された。	B 利用者数は8,738人/年であり、 目標の11,500人を下回った。 コロナによる施設の休館や事 業の中止による影響を大きく受 け、R2よりも利用者数が減少し た。 新規利用者の増加よりも、既 存利用者が高齢化し、利用しな くなる・できなくなるケースが増 えている。	利用機会創出のため、町のイベ ントやワークショップの開催時 にお試し乗車券を配布し、新 規利用者の掘り起こしを図る。 また、本格実施が決定したネッ ト予約の周知に努めるとともに 、ネット予約のさらなる利便性 向上を目指して交通事業者等 関係者間での調整を行い、若い 世代の新規利用者確保を目指す。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和 4年 1月19日

協議会名:	輪之内町地域公共交通会議
評価対象事業名:	地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統)
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	輪之内町には鉄道駅が無く、町の公共交通としてはバスが主であり、町と町外を結ぶ3路線と町内を循環する1路線の計4路線のバスが運行され、住民の移動手段を担ってきた。しかし、町の自主運行バス路線の年間輸送人員の減少、バス路線維持に対する財政負担、高齢化の進行などが問題となっていた。また住民からは、空バスへの指摘がある一方、こまめな停留所の配置、バスの増便などの新たな要望が挙げられていた。 そのため、連携計画で定めた『「住んでいて良かった、これからもずっと住み続けたいまちづくり」の一翼を担う公共交通の構築を目指す』を基本理念とし、利便性向上を図りながらも、できるかぎり財政負担の軽減を図り、便利で効率的な公共交通を構築することを目的に、地域公共交通確保維持事業に取り組むものである。 自主運行バスは、高齢者等の移動制約者の買い物や通院、高校生の通学のための交通手段として不可欠なものであり、今後も維持していく必要がある。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(計画策定に係る事業)

令和4年1月19日

協議会名: 輪之内町地域公共交通会議

①事業の結果概要	②事業実施の適切性		③生活交通確保維持改善計画又は 地域公共交通網形成計画等の計画策定に向けた方針
【事業内容及び結果概要を記載】	A・B・C 評価	【事業が適切に実施された(されている)かを記載。適切に実施されなかった(されていない)場合には、実施されなかった事項及び理由等記載】	【補助申請を行う補助対象事業名、事業内容、実施時期等を記載】
・学生や一般住民に対し、アンケート調査を実施。計画に反映させた。 ・全住民対象のワークショップを各地区1回ずつ開催した。バスに関する情報提供及び利便性向上策等の意見交換を実施し、頂いた意見を計画に反映させた。 ・輪之内線、輪之内羽島線、南北線において乗降調査を実施。調査時にアンケートに回答して頂き、利用時間帯・利用頻度のデータを回収した。 ・輪之内町地域公共交通会議を年間4回開催した。各データの報告や利便性向上策及び今後の検討課題等に関し、委員からの意見を計画に反映させた。	A	実施された。	【補助対象事業名】 輪之内町地域公共交通計画策定支援業務 【事業内容】 ・公共交通の運行状況、利用状況等の整理 ・地域住民のニーズ把握 ・地域公共交通計画(案)のとりまとめ ・協議会開催 【着手日】 令和3年6月21日 【完了予定日】 令和4年3月31日

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和4年1月19日

協議会名:	輪之内町地域公共交通会議
評価対象事業名:	地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(計画策定に係る事業)
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	輪之内町には鉄道駅が無く、町の公共交通としてはバスが主であり、町と町外を結ぶ3路線と町内を循環する1路線の計4路線のバスが運行され、住民の移動手段を担ってきた。しかし、町の自主運行バス路線の年間輸送人員の減少、バス路線維持に対する財政負担、高齢化の進行などが問題となっていた。また住民からは、空バスへの指摘がある一方、こまめな停留所の配置、バスの増便などの新たな要望が挙げられていた。 そのため、連携計画で定めた『「住んでいて良かった、これからもずっと住み続けたいまちづくり」の一翼を担う公共交通の構築を目指す』を基本理念とし、利便性向上を図りながらも、できるかぎり財政負担の軽減を図り、便利で効率的な公共交通を構築することを目的に、地域公共交通確保維持事業に取り組むものである。 自主運行バスは、高齢者等の移動制約者の買い物や通院、高校生の通学のための交通手段として不可欠なものであり、今後も維持していく必要がある。